

「力」による表現だ。描くところには創造の喜びがあり、描かれたものには生命の躍動がある。かくて同じ自然の再現であつても繪畫と寫真との價値の差異をここに見出す。我等の描くところのものには、小さくても拙くても、自然の生命と我等自身の生命とが融合したところの何ものかをもつ事を我等は固く信ずるものである。

如何なる方法を以て再現するかと云ふ事は今述べた三つの事をさへ踏んでゐるならば、干渉の外にある。だから我等は最後に「極めて自由に。」といふ事を重んずる。

人類である我等は、「神」が特に人類として他のものより區別したまへる我等は、常に自然を忘却してはならぬ。永遠なるもの、それ

上を東に向つた。爾來幾星霜、皇帝はひたすらに靈藥を待つたが、一度帝命を奉じて去つた舟は再び其の姿を見せなかつた。皇帝は遂に死なねばならなかつた。彼が生前に萬世を誇つた帝業は彼の死と共に夢よりもはかなく地に碎けた。皇帝は誤つた。永劫の生命は之を東海の靈島蓬萊の國に求むべきに非ずして實に彼自身の中にこそ求むべきであつた。想ふてもみよ、曾ては邊境萬里にわたつて山河を連ねたる長城の殘骸がただ王者の榮華の、それも大方は殆ど信することさへも六づかしい、「記憶」としてのみ存在する時、「モナ・リザ」の微笑は永遠に人類を惱ましてゐるではないか。

我等が愛する少年よ、諸君の若き胸は徒なる劍劇にのみ躍つてはならぬ。我等が愛する

は必ず自然を基調としたものである。教祖によつて説かれた愛は理論ではない。畫聖によつて現はされた美は裝飾ではない。學徒によつて啓かれた眞は便宜ではない。それ等は凡て彼等によつて如實に體得されたところの自然の生命が彼等の力によつて再現されたものに他ならぬ。そのために、而してそのためにのみ、それ等は永遠に國境を超越し階級を超越しつゝ人類を動かして止まぬのである。この意味に於て永劫の生命は人彼自身の中に之を求むべきものである。

昔、一世の梟雄秦の始皇帝は生命の短きを歎じた。ここに於てか、はるか蓬萊の島に不死の靈藥を探るべく、波靜かなる春の日に勇しく美々しき王者の舟は、花の如き幾百の童女と山の如き幾多の財寶とを載せて歸らず海

少女よ、諸君の紅涙は徒なる戀のたれにのみ注がれてはならぬ。はるかに、水清らかなるセーヌ河の岸邊、美しき「モナ・リザ」の唇のはとりにひそみたるかの不可思議の微笑を想ひ、そしてレオナルド・ダヴィンチの永劫の生命を謳へ。その時高原社は諸君を待つてゐるであらう。

高原社會則

- 一、高原社は繪畫の研究を目的とする
- 二、その目的のために展覽會、茶話會又は旅行會を開催する
- 三、會員は眞面目に繪畫を研究するものであらねばならぬ
- 四、會の費用は會員相互の間で負擔する
- 五、會の事務は會員から選定して幹事が行ふ

標語

我等は自然を觀やう、感じやう、そして現さう、極めて自由に、

(附記—高原社の事務はとりあへず野田町中町八百六文房具店で取扱つてゐます)